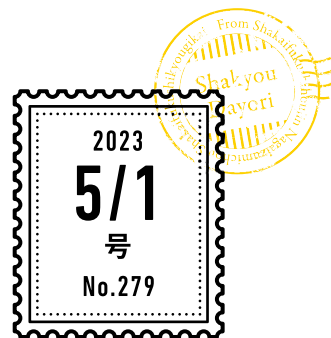


社協だより



民生委員・児童委員は、地域で暮らす高齢者や障がいのある方、子育てに不安のある方、生活に困りごとなどがある方と、町や社協などの支援先とをつなぐ「つなぎ役」です。
昨年12月の全国一斉改選により、町内で民生委員・児童委員、主任児童委員合わせて89人が選任されました。今後も引き続き、安心して暮らせる地域づくりのために活動していきます。

長泉町民生委員
児童委員協議会
会長 川島一郎さん

全国民生委員児童委員連合会では、毎年、5月12日を「民生委員・児童委員の日」、また、この日から1週間(5月12日～18日)を「活動強化週間」と定めています。

NEWS >> 01

令和5年度手話奉仕員養成講座 「入門編」受講生募集

地域に暮らす聴覚障がい者から手話を学んでみませんか?手話や聴覚障がいについて学び、手話技術や手話表現技術を習得しましょう。講座は厚生労働省全国統一カリキュラムにより行われ、所定の日数に達した方には修了証を発行します。

[日 時] 5/31(水)～10/25(水)までの毎週水曜日
19:00～21:00(18講座)(3講義)

[定 員] 20人

[参加費] 無料

[場 所] 長泉町福祉会館(長泉町下土狩967-2)

[対 象] 高校生以上の町内在住、在学在勤の方

[申込み] 5/24(水)までに長泉町社会福祉協議会に電話、FAX、メール、右コードいずれかで申し込み



NEWS >> 02

傾聴(お話相手)サロン『ふらっとサロン』ご案内

[日 時] 5/26(金)、6/23(金)、7/28(金) 13:30～15:00

[場 所] 長泉町福祉会館 [参加費] 無料

[お話し相手] 傾聴ボランティアふらっと会員(秘密は厳守します)

[申込み] 不要。気軽にお立ち寄りください。

[問合せ] 長泉町社会福祉協議会 TEL.988-3920(担当:八木)

NEWS >> 03

やさしい心ありがとう

【物品寄付(清拭布、使用済切手、野菜他)】 足立淑江、(株)フジモト 安藤、(株)平和リサイクル、神山美智子、木村紀子、児島久子、シニアクラブ竹原、退職公務員東駿支部女性部会、中野正則、その他匿名5人(敬称略)

【寄付金・寄贈品】 (株)セブン・イレブン・ジャパン、シニアクラブ長泉、富士伊豆農業協同組合まゆの会、三澤洋子、南一色区自主防災会、その他匿名2人(敬称略)

ご厚志に深く感謝申し上げます。(2/1～3/31)

NEWS >> 04

令和5年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画・予算

第6次長泉町地域福祉活動計画にうたう基本理念『いきいきとした暮らしを支える 優しい ながいずみ』の実現に向けた取り組みを推進していく中において、組織の充実と健全な事業経営に努め、地域福祉向上のために取り組んでいきます。今年度の長泉町社協予算は、4億4,478万円です。



今年度の新規・重点事業

施策の方向1

ひとりひとり〈福祉の心を育てる〉

- ・地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進を図るため福祉健康まつりを開催

施策の方向2

地域〈ともに支え合う地域づくり〉

- ・地域における交流・居場所づくりの推進として、ひとり暮らし高齢者交流会事業の実施
- ・住民同士の連携による地域福祉の推進として、地域の支え合い活動を推進する生活支援体制整備事業用の車両の購入、第2層生活支援コーディネーター業務を受託

施策の方向3

関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉

- ・地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化として、法人としての事業継続計画BCPを策定
- ・多様化する生活状況に対する支援の充実として、『こどもの居場所支援』事業の実施、重層的支援体制整備事業の一部である『参加支援事業』およびアウトリーチなどを通じた『継続的支援事業』の受託
- ・権利擁護の推進として中核機関の受託

施策の方向4

環境〈安心・安全な環境整備〉

- ・防災・減災、感染症対策の推進として、災害ボランティアが使用する資機材を保管する防災倉庫を設置

そのほか、従来通り、法人後見の実施や、居宅介護支援事業、指定通所介護事業、指定認知症対応型通所介護事業、指定訪問介護事業サービス、地域活動支援センター事業、福祉会館や在宅福祉総合センターの運営など各種事業を実施していきます。

社会福祉協議会では次の相談に応じていますのでご利用ください。(月～金曜日、祝日は除く)

ボランティア相談／地域福祉について 8:15～17:00 TEL.055-988-3920(代表)
生活福祉資金貸付制度／住居確保給付金 8:15～17:00 TEL.055-988-3920(代表)
生活困窮相談(自立相談支援事業・家計相談支援事業)／福祉総合相談 8:15～17:00 TEL.055-987-7680

社会福祉法人 長泉町社会福祉協議会 長泉町下土狩967-2 福祉会館内
TEL.055-988-3920 FAX.055-986-3794
http://www.nagaizumi-shakyo.jp ✉ bureau@nagaizumi-shakyo.jp



HP



Facebook



Instagram



LINE

以前から、「お寺をもっと地域に開かれた場所に」と考えていたところ、立ち上げ講座が開催されると聞いて、参加しました。子ども食堂は「いろいろな人との交流」と聞き、多世代の交流に惹かれました。また、立ち上げまでの手順や助成金などの知識、見学体験を通し、自分の構想が具体的になってきました。居場所をしてみたい、と身近な人に話したところ、きっかけがあれば手伝ってくれる方がいると分かり、心強く感じました。まずは、子どもと保護者の方が来てくれて、食事とお話しができればいいと思います。今の時代、話せる場があれば、起こらなかった悲しい事件もあると思い、いい意味でのおせっかいが大切だと感じています。

勉強会と見学に参加し、居場所立ち上げの準備をしている
清林寺 土山ご夫妻



実際に活動している方の体験を聞き、自分にできる・できないことが、はっきりし、イメージが膨らみました。居場所見学と体験では、限られた時間での準備が大変でしたが、献立など具体的な話が聞けて良かったです。居場所のない子ども、長期休み中の子ども、一人で食事している高齢者などが集まれるような、地域の交流の場のお手伝いをしていきたいと思いました。今回の講座のように、同じような想いを持つ方と交流する機会があると活動が広がるので、このような企画を今後ももっていただきたいです。

勉強会と見学に参加した
瀬尾 恭子さん



「子どもの居場所立ち上げ講座」には、個人や施設勤務の方、企業勤務の方など、さまざまな方が参加され、子どもが抱えている問題や子どもの居場所の取り組みなどについて、一緒に学び、深く知ることができました。私たち杏林堂薬局は、薬局、ドラッグストアなどの枠にとらわれず、地域の皆さんに欠かせないインフラ(基盤)となることを目指しています。弊社としても、いろいろな視点から地域の取り組みに協働できる可能性があると感じたため、地域を巻き込んだ取り組みへとつなげていきたいと考えています。

勉強会に参加した
株式会社杏林堂薬局 長谷川 剛広さん



令和5年度 子どもの居場所応援計画 (予定)

- 令和4年度に引き続き勉強会や見学会を随時開催しています。
- 立ち上げを検討している方へは個別に具体的な相談を受けます。
- 実際に活動している実践者にも寄り添ったサポートをしていきます。

まずは、
社協へ相談してください！

詳しくはこちらから
ご覧いただけます→



災害時のボランティア活動のパンフレットを作成しました！

全国で多発する災害…地震、津波、風水害などいろいろな種類があり、大規模な災害もあれば、地域が限定された災害もあります。静岡県では、東海地震が心配されていましたが、近年では、水害や竜巻が多く発生しています。災害が起きた時、どうなってしまうのか、どうすれば良いのか、「住民同士による支えあいの活動(ボランティア活動)」の視点から捉えたパンフレットを作成しました。福祉会館などに置いてありますので、ご覧ください。

〔問合せ〕長泉町社会福祉協議会 TEL/055-988-3920

こちらからも
閲覧可能→



地域みんなで考え・つくる

こどもの居場所づくり

地域の住民や企業・事業者などが中心となって、地域の子どもたちが健やかに育つような取り組みが町内でも広がりつつあります。また、「子どもの居場所」と言いつつも、実は、子どもを中心とした「大人の居場所」、「子どもの親たちの居場所」でもあったりします。居場所に決まった形はありません。いつ、どこ、だれの居場所にするかは、運営者たちの想いで決まり、特別な技能もいりません。地域みんなが笑顔になれる居場所づくりをしてみませんか？

＼ 社協は、どの段階においてもサポートしていきます！ /

居場所を立ち上げるまでのプロセス

03 感じる(見学)

見学や体験に参加して実際の雰囲気などを感じる。
[社協主催の体験会や見学会などに参加]



04 準備する

情報を整理し準備を始める。
[社協に相談、助成金情報や仲間づくりなど]



05 始める

居場所を立ち上げてみる、立ち上げようとしている人に協力する。
[社協に応援を依頼する]

01 知る(学ぶ)

「どんな居場所の種類があるの?」「どのようなことを行っているの?」知ることで想いや考えを整理する。
[社協講座や見学会などに参加]



02 つながる

学習やイベントなどに参加して同じ想いの住民や企業の方と知り合う。
[社協講座や見学会などに参加]

令和4年度に実施した勉強会や見学の様子



体験を通じた居場所「はらぺこ食堂」に見学へ!
(この日は、農家さんと一緒に切干大根作り)



勉強会は3回開催し、全国の動向、多様な居場所の形、実際の活動などについて、学びました。